



『山に木を植えました』
講談社



book

山に木を植えると、おいしい魚が食べられる——森、川、海の有機的なつながりを見つめ直す絵本です。監修の島山重篤氏は気仙沼湾の漁師で、「森は海の恋人」を合言葉に20年前から仲間と広葉樹の植樹を行っています。山の栄養が小川で海に運ばれて豊かな海を作り、そこで育まれた魚が食卓へ並ぶ、という食物連鎖の仕組みが分かりやすく描かれています。スギヤマカナヨさんの美しいイラストを見ながら、大人も子どもも楽しんで学べます。

作者/スギヤマカナヨ 監修/島山重篤

第21回 東京国際映画祭



event

今回で21回目を迎える東京国際映画祭が、10月18〜26日に六本木ヒルズ他で行われます。今回は、「地球環境を守るIIエコロジー」をテーマに、回収されたペットボトルで作られたレッドカーペットならぬ「グリーンカーペット」が出現。また、自然と人間との共生をテーマに持つ作品を集めたnatural TIFF部門が新設され、主要部門の秀逸な作品にはアース・グランプリを贈呈する予定です。エコな映画祭で、地球環境問題について考えてみませんか。

<http://www.tiff-jp.net/ja>

80*80 (ハチマルハチマル)



spot

フードマイレージに配慮し、「80km圏内の食材を、80%以上使用する」ことをコンセプトに、身近な安心ごはんを提供するレストラン。お店から80km圏内(西は富士山、南は大島、北は熊谷市、東は土浦市まで)の食材を使用することで、輸送にかかるCO₂を削減しています。地元産小麦粉のうどんを使用した創作パスタ料理や、新鮮食材をシンブルに調理した日替わりメニューのお弁当など、おいしく健康的なメニューを提供しています。

横浜市中区北仲通り4-46 (電話045-663-7056) <http://www.8080food.com>

エコ生活のもと

全国のエコファミリーが教えてくれた、毎日の暮らしをちょっとエコにしてくれるアイデアをご紹介します。

その1

携帯電話はリサイクルへ

ecosunさん



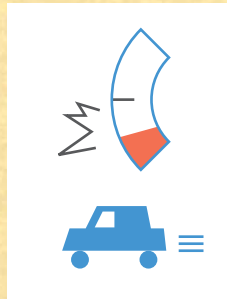
携帯電話の機種変更後の古い携帯を持ったままの人が結構いるようですが、携帯にはレアメタルが結構使われており、この原料が品薄になり価格が高騰→携帯電話の値上がりの要因の一つになってしまいうようです。うちでも3台ほどありましたが、すべてショップへ持っていきました。

その3

車の燃料は、少しずつ補充しています

ECOっちゃんさん

満タンなんて、とてもとても……。少しずつ入れることで、思わぬ効果が現れました。燃料計が、いつも微妙なラインなので、遠出をしなくなった。エコ運転に気をつけるようになり、燃費が良くなった。財布の中身の減りが遅くなった。

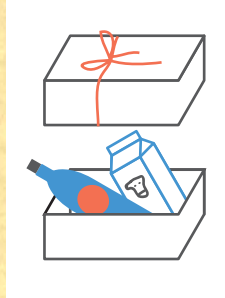


イラストレーション/aitaka

その2

贈答品

近くは歩いてさん

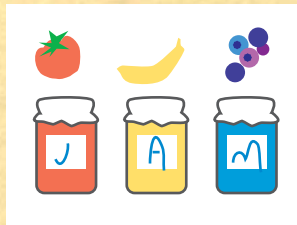


お中元やお歳暮など、1年を通していろいろな機会に贈り物をします。目上の人への贈り物は、包装などが簡素だと失礼にあたるのでは？と感じるところもまだあります。そんなときは、贈り物の中身を考えます。たとえば果汁100%のジュースを送るとき、ごみが多く出る缶入りのものより、ビンやリットル位の紙パック入りのものなど、よりごみが少なくなるものや、リサイクルできるものを選んでいきます。過剰包装などが指摘される昨今ですが、目上の人への贈り物などに、まずは抵抗感が少ない、中身の包装を考えることから始めてみるのも一つの手法だと思えます。

その4

いつでも美味しいジャムが食べられる方法について

smart一家さん



季節ごとに美味しい果物が安く手に入った場合、食べきれずに悪くしてしまうことがあると思いますが、そのような時はジャムにして冷凍保存すると、後で美味しく食べられますよ。ちなみに、我が家で最近作ったジャムは、スモモジャム、ブルーベリージャム、バナナジャム、トマトジャムなどです。たくさん作ったものは、冷凍保存しています。別の季節に解凍して食べるときっと美味しいですよ。

注

環境省では「我が家の環境大臣事業」を通じて、環境にやさしく暮らしを心がけるエコファミリーを応援しています。エコファミリーウェブサイト <http://www.eco-family.go.jp> 今回ご紹介したアイデアは、エコファミリーから寄せられたエコライフアイデアを、一部内容を編集して掲載しています。